

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	横浜市における安全・安心のかわづくり計画（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	横浜市											
計画の目標	大型台風や集中豪雨の多発、都市化の進展に伴う浸水被害リスクの増大に対し、総合的な治水対策を実施することにより水害に強い都市をつくり、安全安心な市民生活の確保を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	15,222	A	15,222	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	計画降雨に対し浸水の恐れがある区域を540haから385haに削減する。 H30当初における計画降雨に対し浸水の恐れがある区域の面積（540ha） 対策完了により計画降雨に対し浸水の恐れが解消された区域の面積（ha）	540ha	ha	385ha
2	ライフサイクルコストの縮減を図るため、延命化に必要な措置を適正に行う河川管理施設を増やす。 長寿命化計画に基づき、点検・整備・更新を予防保全的に実施する河川管理施設数	0施設	施設	2施設

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	いたち川都市基盤河川改修事業	L=6,170m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市						1,986	-	
	A03-002	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	和泉川都市基盤河川改修事業	L=9,420m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市							1,506	-
	A03-003	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	宮川都市基盤河川改修事業	L=2,040m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市							342	-
	A03-004	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	流貯(1)	-	鶴見川流域貯留浸透事業	N=2箇所、校庭貯留	横浜市							225	-
	A03-005	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	流貯(2)	-	境川流域貯留浸透事業	N=2箇所、校庭貯留、既設改良	横浜市							230	-
										小計							4,289		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
その他総合的な治水事業	A08-006	総合治水	一般	横浜市	直接	横浜市	準用	-	神奈川東部河川圏域総合流域防災事業	L=620m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市						278		-	
	A08-007	総合治水	一般	横浜市	直接	横浜市	準用	-	境川圏域総合流域防災事業	L=450m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市						344		-	
												小計						622		
河川事業	A03-008	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	今井川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						36		-	
	A03-009	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	帷子川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						126		-	
	A03-010	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	阿久和川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						42		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
河川事業	A03-011	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	和泉川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						168		-	
	A03-012	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	いたち川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						33		-	
	A03-013	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	名瀬川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						60		-	
	A03-014	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	舞岡川緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						33		-	
												小計						498		
	その他総合的な治水事業	A08-015	総合治水	一般	横浜市	直接	横浜市	広域系	-	境川圏域緊急対策事業	河道掘削、樹木伐採	横浜市						206		-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施	令和7年度
	公表の方法 横浜市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>1.平成30年度に和泉川の河道部分について改修が完了し氾濫想定面積155haの削減を達成。</p> <p>2.権限移譲を受け管理権限を有しているポンプ排水型遊水地で長寿命化事業を実施（宇田川遊水地：R1、鳥山川遊水地：R2）し達成。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>【学識経験者の意見】 時間降雨量50mmでの氾濫想定面積について、定量的指標である155ha削減を達成していた。また、遊水地の長寿命化事業について2箇所で開催されていることを確認した。これらから当初整備目標に対して着実に事業が進められていると評価できる。地球温暖化の影響が顕在化しているなか、今後は維持管理の高度化を含め、流域治水の考え方をベースにしながら河川整備を進められたい。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	385ha
	最終実績値	385ha
2	最終目標値	2施設
	最終実績値	2施設